

## 貸借対照表

(2025年2月28日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>249,693</b>	<b>流動負債</b>	<b>732,557</b>
現金及び預金	186,425	買掛金	39,447
売掛金	34,783	未払金	2,293
未収消費税等	25,236	関係会社未払金	278,834
その他	3,248	未払法人税等	290
<b>固定資産</b>	<b>122,733</b>	契約負債	146,593
<b>無形固定資産</b>	<b>122,733</b>	1年以内返済予定 長期借入金	6,478
ソフトウェア	54,096	1年以内返済予定関係会社 長期借入金	33,000
ソフトウェア仮勘定	68,637	関係会社預り金	217,000
		その他	8,619
		<b>固定負債</b>	<b>497,734</b>
		長期借入金	114,781
		関係会社長期借入金	151,412
		長期契約負債	231,541
		<b>負債合計</b>	<b>1,230,291</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		株主資本	△857,864
		資本金	26,000
		資本剰余金	100,000
		資本準備金	100,000
		利益剰余金	△983,864
		その他利益剰余金	△983,864
		繰越利益剰余金	△983,864
		(うち当期純利益)	(△131,505)
		<b>純資産合計</b>	<b>△857,864</b>
<b>資産合計</b>	<b>372,427</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>372,427</b>

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

個別注記表**(重要な会計方針に係る事項に関する注記)**

## 1. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 無形固定資産

- ① ソフトウェア 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(3年～5年間)に基づく定額法を採用しております。

## 2. 重要な収益及び費用の計上基準

ゴールベース型資産運用支援 (GBA) サービスの主な内容は、顧客がゴールベース型資産運用支援サービスに基づく投資一任ビジネスを開始するために必要となる開業支援の提供、システム構築及び月額でのシステムの利用許諾、運用保守を行っております。

開業支援の提供とシステム構築は、契約が一体となっているため、開業支援提供の要素とシステム構築要素の独立販売価格の比率に基づいて収益を按分しております。

開業支援提供の履行義務は、契約期間にわたり概ね一定の役務を提供するため、時間の経過に応じて履行義務が充足されることから、契約期間にわたり収益を認識しております。

システム構築の履行義務は、システムの利用期間にわたって履行義務が充足されるため、当該利用期間に応じて収益を認識しております。

なお、開業支援の提供とシステム構築は、サービス提供前に顧客から対価を受け取るため、契約負債を認識しております。

システムの利用許諾、運用保守の履行義務は、時間の経過に応じて履行義務が充足されるため、役務を提供する期間にわたり月額料金を収益認識しております。

**(株主資本等変動計算書に関する注記)**

発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：株)

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度期末
普通株式	105	3,000	—	3,105

以上